

縁側でにぎわいづくり

福山・鞆 大学生イベント企画

江戸期の風情を残す局（同市鞆町鞆）前のていた岡山県立大（総社市窪木）建築学科の福山市鞆町でかつて広通りで開かれた。えんだらーは、鞆町学生らが鞆の浦学園（福山市鞆町後地）の側「えんだらー」を地の道端に夏涼むため置かれ、寝転んだり、近所同士で酒を飲んだり生かそうというイベント「とも・こども商店」を使っていた。鞆町のイベントを企画した。鞆町でフィールドワークした。



元々商店街だった約100以上の通りに飲食など24のブースを設け、新たに作られたえんだらー4台と、地元で昔使われていた9台を並べた。家族連れらがえんだらーに座り、りんごあめや焼き芋を食べたり、おしゃべりしたりして過ごした。

えんだらーは今後も、地域のイベントなどで活用する。近くに住む岡崎浩美さん(63)「同所」は「懐かしさを感じる。子どもたちとお話もできて楽しかった」と話した。

飲食ブースなどが並ぶ会場で、えんだらーに座ってくつろぐ来場者

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。